



外国出張報告書

平成 26 年 12 月 1 日

1. 出張国名 インドネシア
2. 出張月 平成 26 年 11 月
3. 出張目的 新規プロ提案のための FS 調査：D

4. 成果の概要

東部インドネシアにおける新規プロジェクト形成のため、東ヌサテンガラ、南スラウェシの農業技術評価庁並びに農家圃場の農業の現況、問題、研究実施状況を把握した。

東ヌサテンガラ農業技術評価庁では、乾季野菜の節水栽培について JIRCAS の「東北タイにおける参加型技術開発の成果」を紹介し、意見交換した。また、管轄下の山岳野菜農業および低地の水田農業の現況を把握した。

南スラウェシ農業技術評価庁では、JIRCAS が実施した「インドネシアの多収穫水田の調査結果」を紹介し、意見交換した。また、管轄下の農畜連携の事例として堆肥生産農家と肥育用飼料生産農家を視察した。

乾季の水不足と化学肥料多投は東ヌサテンガラ、南スラウェシ共通の問題であり、多様な生産環境と多様なステークホルダーの意向を満たす技術は JIRCAS のインベンションモデルによる参加型技術開発による土壌肥沃度促進技術が適していると考えられた。